

## 『お金』と『ノーベル賞』との関係 つづき

今、勤労者毎月統計問題がニュースになっていますが、同じ厚生労働省管轄で皆さんにもっと身近で関心の高い、年金制度について平成 16 年の年金法改正から仕組みが大きく変わったことを覚えていますか？『物価スライド制』から『マクロ経済スライド制』に変更されました？？？

ごくごく簡単に言うと、以前は世の中の物価が上昇すると年金額も併せて上昇する仕組みでしたが、平成 17 年 4 月からは少子高齢化のため（年金財政の均衡を保つため）物価上昇が起こっても、年金額を抑制する可能性があるという仕組みに変更しました。自民党政権に代わってから国全体でデフレからの脱却、継続的に緩やかなインフレを目指しています。

### 物価は上昇し、年金は抑制される。皆さんはどうしますか？

（※平成 29 年から平成 30 年の物価上昇率は 0.5%だったが、年金額は据え置きなので、実質はマイナスになっている。）

と、言うことで前回からの続きです。世界の英知、ノーベル経済学賞の理論を紹介します。1990 年に受賞したアメリカの経済学者ハリー・マーコウィッツが発表した『**資産運用の安全性を高めるための一般理論形成**』。いわゆる『**資産分散**』です。よく使われる表現で「すべての卵をひとつのカゴに盛るな」と言った、運用の世界で有名な格言です。万一、すべての卵を入れたカゴを落としてしまったら？もちろん、卵はすべて割れてしまいます。しかし、いくつかのカゴに分けて盛れば、ひとつ落としても残りは無事です。これが『**資産分散**』の基礎理論。長い目で着実に運用を続けていくには、絶対に忘れてはいけない鉄則です。そして、マーコウィッツはこの昔からある伝統的な運用基礎理論を高度な数学を利用し『モダ

ン・ポートフォリオ理論』として体系化し、値動きの異なる資産を組み合わせることで、資産全体のリターンを維持しながら、全体のリスク（ブレ）を抑える効果があることを立証しました。

そして、もう一つ。20世紀最大の天才 アインシュタイン。誰もが知っている天才物理学者。もちろんノーベル賞受賞者（1921年・ノーベル物理学賞）。彼が残した名言「人類最大の発明は〇〇である」〇〇に入るのは特殊相対性理論？ブラウン運動理論？正解は意外や意外、**お金に関する『複利』という仕組み**。古代ローマ時代からある利子の概念で、元本だけでなく利子が利子を生む仕組み。ポイントは、利子を元本に組み入れ、大きくなった元本に対してさらに利子が付くことで「お金がお金を儲ける」仕組みになることです。考え方は非常にシンプルだが、時間が経つにつれリターンは大きくなり、雪だるま式に殖えて行く仕組みです。

この2つの理論（シンプルかつ鉄則）を元に対策をしていくことで、資産を安定的に殖やす仕組みを作ることが可能です。もちろん、私もやっています。同封の『はじめての資産運用～お金の殖やし方のコツ教えます～』も参考にさせていただき、ご興味ありましたらお気軽にご相談ください。理論に基づいた私の実践もお伝え出来ますので、よければ参考にしてください。

ソニー生命保険 株式会社

〒870-0029 大分市高砂町 2-500 A S I S ひろば 21 9階

TEL097-532-9200 ライフプランナー・山田 新悟

大分支社 S L : 1 8 - 3 2 2 0 - 0 0 6 9